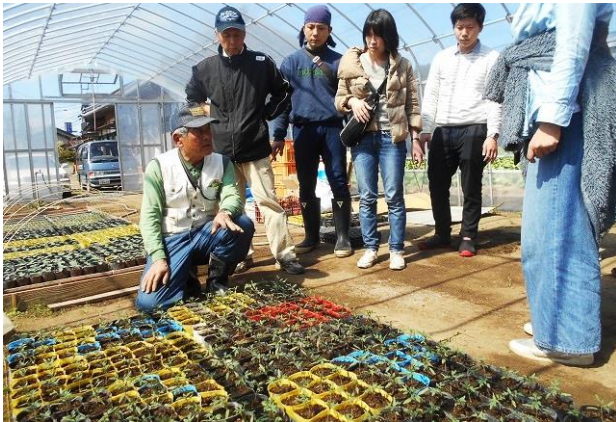




## 夏野菜の準備中



鉢替えをしたミニトマトの苗について説明をする高柳場長。水は与えすぎないのが苗作りのコツです。



本葉の2枚目が出てきたナスの苗。茎の太さは、まだ爪楊枝よりも細く、保温も必要です。



3月頭に種蒔きしたキュウリの苗は本葉が出始めました。ナス科よりも子葉が大きく成長も早いです。

### ★夏野菜の苗、すくすく育っています

三寒四温と言いますが、暖かい日も多くなってきました。野花があちこちで咲き、テントウムシも動き始め、生命の息吹を感じる今日この頃、ビニールハウスの中では、すくすくと夏野菜が育っています。

夏に出荷するミニトマトやナスの種は、まだまだ寒い2月中～下旬に蒔きます。ゴマ粒ぐらいの小さな種から出た小さな芽は、ビニールハウスの中の温床やトンネルで保温してあげることで少しずつ育ちます。そして本葉が2～3枚出てきた頃にポットに鉢替えします。今年のミニトマトは種蒔きからちょうど1ヶ月後の3月17日に鉢替えをしました。ここから更に約1ヶ月後の1番花がつく頃にビニールハウスに移植され、さらに収穫開始までは約2ヶ月と、種蒔きから出荷まで全部で約4ヶ月もかかるのです。また、キュウリはナスなどに比べて生育が早いので、3月に入ってから種を蒔きました。4月中～下旬にはビニールハウスに移植され、そこから約1ヶ月で収穫開始です。

このように、夏野菜といっても種蒔きは寒い時季からやらないと間に合いません。3月は同時に田んぼの畦塗りや苗作りが始まります。そして苗に水やりをしたり、暖かい日は朝晩ビニールハウスを換気のために開け閉めするなど、お世話で忙しいのです。そうこうしているとあっという間に田植えが始まり、田植えが終わる頃にはキュウリミニトマト、そしてナスなどの収穫時期が次々とやってきます。2月から夏野菜の準備と驚く人もいるかもしれませんが、農業は自然と共にあるので1年が1つのサイクル、1つの流れとなって繋がっているのですね。

### 【産地情報】

◎小カブは4月1日から出荷再開予定です。またキャベツは4月上旬でいったんお休みになります。